

地方創生にかかわる事業の提案をいただきました！

美波町内発型産業振興及び地域活性化事業等提案を募集したところ、全体で10件の応募をいただきました。

そのうち、4件の提案事業が優秀賞として選ばれ、3月30日役場にて表彰式が開催されました。



左から 小部博正氏、阿部節夫氏、影治町長、春田裕計氏、須藤茂樹氏(代理：久米直哉氏)

番号	提案事業名	最終結果
1	恵まれた土地における紅茶振興 ～和紅茶・日和佐紅茶の復活と栄光の日々をもう一度	
2	ジビエ食品の加工・販売を通しての美波町のPR	優秀賞
3	近隣の企業の社宅や寮の誘致	
4	「はまひるがお」を拠点とする人的交流活性化活動	
5	地元文化財(薬王寺 寺宝)を活用した観光誘致および地域活性化事業	優秀賞
6	ジップライン(ZIP-L I N E)体験施設の整備事業	優秀賞
7	ドローン(小型の無人航空機)災害時操縦者の育成環境整備事業	
8	美波町日和佐地区における交通弱者対策事業「ひわさ輪タクサービス」	優秀賞
9	「美波町一次産品を使ったコスメブランド創出事業」	
10	建壊し費用の軽減と歴史的材木の再利用推進事業	

お知らせ

美波町の地方創生に関する新聞記事や雑誌が以下の場所でご覧いただけます！

日和佐地区：日和佐図書・資料館1階

由岐地区：由岐ふれあいホール(ぽっぽマリリン2階)

リレーコラム4 祭りの存続と地方創生

美波町役場産業振興課

外 磯 千 博

私たちの住む美波町には、沢山の祭りがあります。どの祭りも人口減少で存続が難しくなっています。他の町村にも沢山の祭りがありますが、やはり人口減少で存続が難しくなっています。町村も祭りも現在の仕組みを維持するには、ある程度の人口規模を維持しなければなりません。そのため、地方創生に取組み、少しでも人口減少を少なくする必要があります。しかし、全国各地の町村が同じような人口減少問題に取組むなかで、美波町を選んで住んで頂くには、今住んでる方が誇りを持って住み続ける町でなければなりません。先人達から受け継いできた数々の資源を大事に磨き続け、決して安売りすることなく、住んで良し、訪れて良しの美波町を目指しましょう。

次回は、「かめたらう」で大活躍の徳永聖二さんにリレーコラムをお願いしたいと思います。

